

## 第2回 ロボット研究・実証拠点整備等に関する検討会 議事要旨

日 時：平成26年12月24日（水）10：00～12：00

場 所：経済産業省本館17階東5第4共用会議室

出席者：浅間委員、角山委員、小沢委員、渡辺委員、尾野委員、菊地委員、加藤委員、弓取委員、森山委員、佐竹委員代理（近藤委員代理出席）、吉田委員代理（星委員代理出席）、袖岡委員、岩見委員、森委員、松本委員、荒井委員代理（星野委員代理出席）、佐脇委員、戸高委員、豊島委員

議 題：1. 防衛省からの説明  
2. 電気事業連合会からの説明  
3. 福島県及び福島県ハイテクプラザからの説明  
4. 自由討議

議事概要：

（1）防衛省からの説明

無人車両研究の概要や CBRN 対応遠隔操縦作業車両システムについて、防衛省より説明。

（2）電気事業連合会からの説明

福島第一原子力発電所におけるロボットの活用例やテストフィールドの整備に関する事例について、電気事業連合会より説明。

（3）福島県及び福島県ハイテクプラザからの説明

災害対応ロボット産業集積支援事業など現在のロボット関係の取組状況について、福島県より説明。また、福島県廃炉・除染ロボット技術研究会の活動について、福島県ハイテクプラザより説明。

（4）委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・完璧だと思っても無人航空機が落ちたり、建機も倒れたりする。そういうことは実証試験をやらないとわからないので、ロボットテストフィールドは必要。
- ・ロボットテストフィールドは、総論としては整備された方が良いと聞かすが、実際に整備された場合、どの程度の頻度で利用するのか、いくら程度の利用料なら良いか等、具体的な検討が必要。
- ・ロボットテストフィールドのヘビーユーザーがコアな収入を支えてくれれば、費用の工面が厳しい中小企業も使えるフィールドになり得る。